

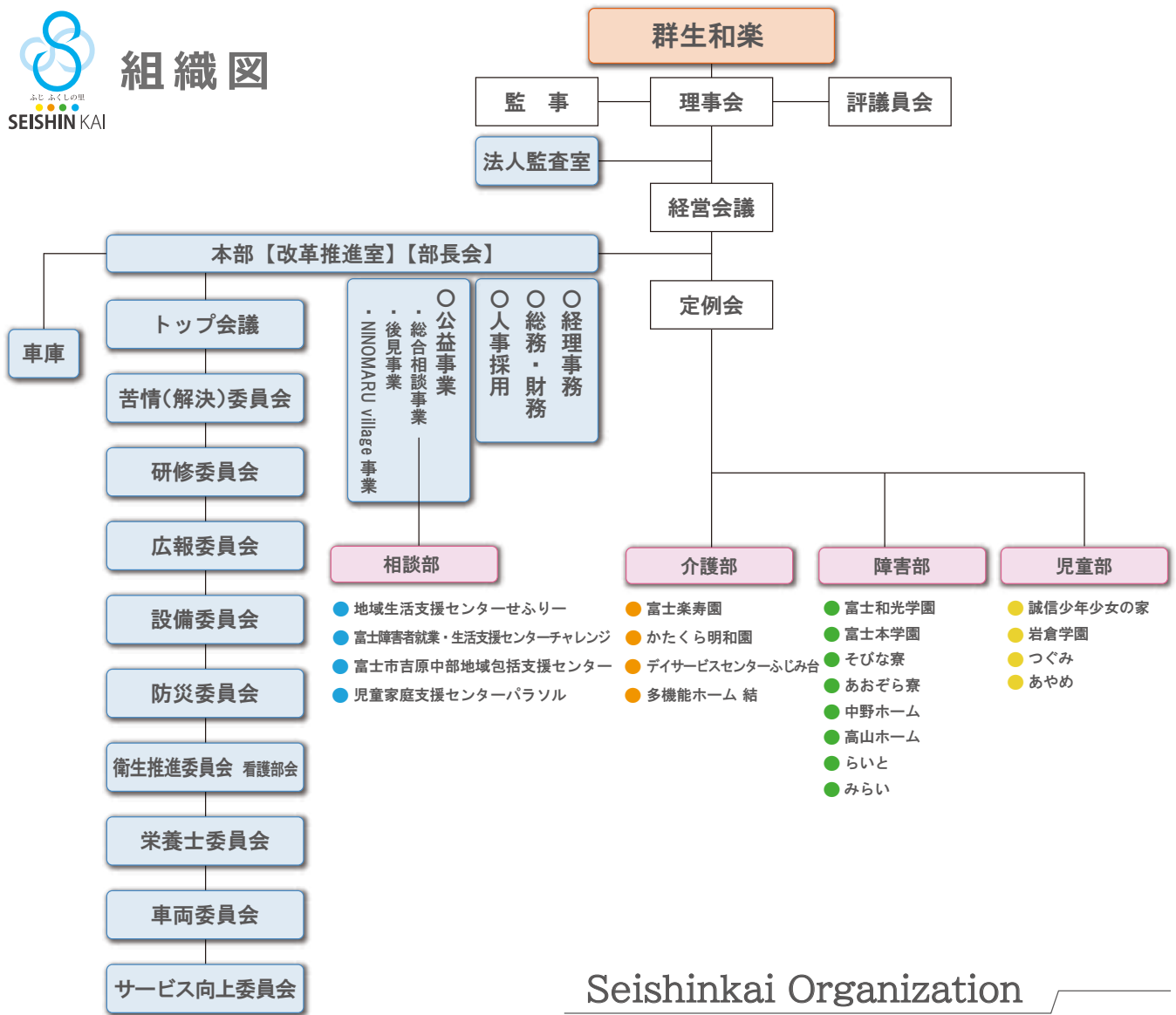
2024

社会福祉法人 誠信会

誠信会レポート



組織図



Seishinkai Organization



Contents

理事長挨拶	1	事業報告(富士和光学園)	10
事業報告(本部レポート)	2	事業報告(富士本学園)	11
事業報告(地域公益事業)	3	事業報告(そびな寮・あおぞら寮・中野)	12
事業報告(少年少女・あやめ・つぐみ・パラソル)	4	事業報告(高山ホーム・チャレンジ)	12
事業報告(岩倉学園)	5	事業報告(くろーばー)	13
事業報告(富士楽寿園)	6	2023年度決算報告①	14
事業報告(かたくら明和園)	7	2023年度決算報告②/年間スケジュール	15
事業報告(ふじみ台・地域包括)	8	ボランティア/寄付	16
事業報告(結)	9	職員情報	17



■ 革新 ～イノベーション～

社会福祉法人 誠信会
理事長 長谷川 文徳

令和6年度は、誠信会組織の革新を目指します。

さて、日本はデフレスパイラルからの脱却が求められています。

これまで日本は、お得で格安な日用品やサービス等が求められ、コロナや戦争等の影響による原材料費の高騰に価格転嫁ができず、企業の収益が増えず給与も上がらないという連鎖が続いています。

そして、アフターコロナのインバウンドは、外国人観光客の日本の円安による消費を受け、更なる物価の高騰となっており、日本人の物価意識との間に格差が生じています。

このデフレを革新しなければ、市場から日本人が追い出されるのではないかと危惧をします。また、世の中はステレオタイプ（固定観念・思い込み）な思想がバイアス（偏見・差別）を生み出し、私たちの社会は混迷の中にいます。

これを解決するためには、私たちがD E & I（多様性・公平性・包括性）な価値観を育むことが求められおり、私たち社会福祉に携わる者は、ソーシャルワーク専門職のグローバル定義（1）にあるように、様々な構造に働きかけ革新することが大事になります。

この革新は、誠信会理念「群生和楽～すべての人々の幸福のため～」の実践にも大切なことです。今まで私たちは、様々な技術革新などがあった反面、古き体質や価値観を変えられずにいました。このような歪みへの革新が、今求められていると考えます。

よって、誠信会は社会革新を目指し「組織体制（ガバナンス）の再構築」と「法人中長期事業計画（ビジョン）の策定」を目標に掲げ事業を進めます。

そして、私たち誠信会の10年後・20年後の理想像を掲げ、その姿に投資をしまいたいと思いますので、皆様には御協力と御支援をお願いします。

（1）ソーシャルワークは、社会変革と社会開発、社会的結束、および人々のエンパワメントと解放を促進する、実践に基づいた専門職であり学問である。

社会正義、人権、集団的責任、および多様性尊重の諸原理は、ソーシャルワークの中核をなす。

ソーシャルワークの理論、社会科学、人文学および地域・民族固有の知を基盤として、ソーシャルワークは、生活課題に取り組みウェルビーイングを高めるよう、人々やさまざまな構造に働きかける。

この定義は、各国および世界の各地域で展開してもよい。

事業報告：本部レポート

採用活動

採用活動では、多くの求職者と出会う中で、誠信会や福祉の魅力伝えて、共感してくれた新卒学生や中途職員を採用してきました。採用した職員それぞれに個性があり、今後の誠信会を担っていく人たちであると考えています。また、今後の日本の情勢を見越して、外国人材を採用しました。新しい環境ですが、言語や福祉の技術・知識を習得していけるように職員一同で支えながら、応援していきたいと思ひます。

誠信会では、福祉は人を相手にする仕事だからこそ豊かな心を持って、あらゆる人に感謝の気持ちを持って関わっていきたくて考えています。さらに、関わる全ての人自立し、幸せ暮らすことができる地域社会を作り、「わたし×ふくしでこの街をもっと笑顔に」をコンセプトに富士市の発展や地域に貢献できる人材を採用していきたいと思ひます。



内定者フォローアップ研修



外国人材入社式

地域共生活動

令和5年度につきましては、地域共生社会の種まきの一年でした。その一部をレポートいたします。

一つ目は、「ナゾときカイゴ」（共催 静岡県 運営受託 KAIGO LEADERS）を富士楽寿園で開催しました。10代～20代の職員と小学生探偵の皆さんが、介護のナゾを解きました。何年後かに、一緒に介護の仕事をするナゾときしているといいですね。

二つ目は、富士市教育委員会様の3年目研修を、岩倉地区で二日間受けさせていただきました。児童・介護・障害・相談・本部とオール誠信会で、講義や体験を企画しました。「教育×福祉」で、子ども達・地域の幸せにつなげていきたいと思ひます。

三つ目は、富士山サイクリングロードレース2024 では、誠信会ブースの出店や、フジ・ティラノDASH！～走って笑って健康に～（主催 JATCO 様）の参加をしました。法人のご利用者様・職員の熱い応援も加わり、市内の事業所の皆さんと「笑い」の協働が繋がりました。

子どもたちにつなげる地域共生社会の実現に向けて、目の前のご縁を大切に、頑張っていきたいと思ひます。



事業報告：地域公益事業

NINOMARU village 事業

法人理念「群生和楽～すべての人々の幸福の為に～」をもとに「健康×福祉×地域振興」という目標を掲げ、新規事業として「NINOMARU village 事業」を立ち上げました。サイクリング事業としては、「E-bikeで巡る 鎌倉幕府への道と曾我兄弟をたどる 散走ツアー」を、富士山かぐや姫ミュージアムの学芸員の皆さんにもご協力をいただき、ガイドサイクリングの開催や、富士市・東電パワーグリッド株式会社・こどもの国との4社協定を結んで富士市内でサイクリングイベント、マウンテンバイクを使った富士山麓の掃除等を実施しております。また、NINOMARU villageの活用としては、全国の大学のオリエンテーリング部、ボーイスカウト・サッカー少年団、または、研修場所として、施設利用者が増えています。自然の良さを体感していただきながら、さらなる活用を検証してまいります。

来年度も富士山の麓・富士市の特性を生かし、持続可能な社会づくりに貢献していきます。



曾我寺にて、学芸員の説明



ラトビア・日本のボーイスカウト交流

法人後見

令和2年12月から、様々な社会的なニーズ等を鑑み、誠信会として「法人後見」を実施していくことで、地域福祉へ寄与していくことができるのではないかと検討を重ねてまいりました。その後、令和6年より1件の後見類型を受任することになりました。複数の担当者が被後見人等に対応することが法人後見の強みとなります。この担当者（法人後見支援員）は、社会福祉士等の国家資格を保有している職員が対象となり実務を担っていくこととなります。

今後の成年後見制度の動向等も視野にいれながら、誠信会が得意とする分野横断型のケースへの対応、関係機関とのネットワークを活かし、被後見人の暮らしをささえてまいります。



事業報告：誠信少年少女の家・あやめ・つぐみ・パラソル

誠信少年少女の家・あやめ

*施設長：中山 剛

入所児童の個別支援の充実を図るため、子どもと職員が1対1で関わることを大切にしたい1年でした。真摯に子どもと向き合い、各々の要望に応えることで、子ども自身は希望を叶えることのできる喜びの体験を得ることができ、職員は子どもへの理解を深めることにつなげることができました。また、子育て支援のサポーターとして、多くの子育て支援事業の利用希望に応じることができました。

◆入所児童推移

令和4年度末	令和5年度		
15名	入所	退所	年度末児童数
	7名	5名	18名

◆利用者実績

	前年度月平均	今年度月平均
一時保護	5.3人	2.5人
ショートステイ	6.8人	7.6人
トワイライトステイ	4.3人	3.7人



つぐみ

ICTを導入し、入園いただいているご家族や一時預かりのご利用者様に対して、利便性の向上をはかることに注力した1年でした。また、開かれた保育サービスを実践し、利用している保護者だけでなく多くの地域の皆様につぐみの保育への理解を深めていただきました。

◆利用者実績

	前年度月平均	今年度月平均
一時預かり	32.1人	33.3人

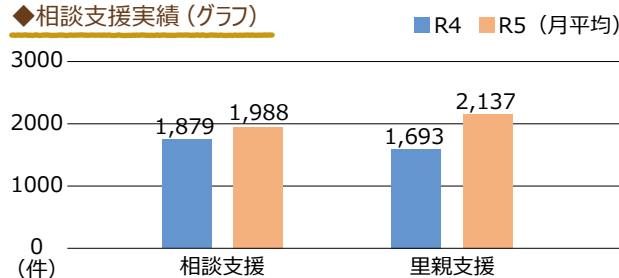
パラソル

ケースをとおして、関係機関との連携を深めることができた1年となりました。子どもの成長に伴い、その子どもと関わる機関は目まぐるしく変わります。子どもやご家族にとって、いつでも相談できる相手として今後も伴走していきたいと思います。

◆相談支援実績

	前年度件数	今年度件数
相談支援件数	1,879件	1,988件
里親支援件数	1,693件	2,137件

◆相談支援実績(グラフ)



■ 岩倉学園

*副施設長：田中 信哉

岩倉学園では、地域小規模児童養護施設の建設に向けて、各コテージ単位で「運営する」ことを意識し、被服費や日用品費、おやつ代等の予算管理や、季節のイベントや外出の企画と開催など、子どもたちと一緒に生活の組立てをおこないました。

職員においては、地域小規模児童養護施設への移行を見据えて、個々の勤続年数や、成長への期待を反映させた年間の研修計画の作成と受講を通し、支援力の向上と、実際の現場における課題や、その解決に繋げることができました。また、先駆的な取り組みや支援をおこなっている他法人の地域小規模児童養護施設を視察する機会を設け、“私たちも参考にしたい”、“私たちならこうしたい”など、知見を広くするとともに、モチベーションをより高くするお土産を持ち帰ることができました。

実務においては、岩倉学園の設備等の整備計画において、地域小規模児童養護施設の建設予定地の候補が定まり、令和8年度開設に向けて進めております。

昨年度は、令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、コロナ禍前とコロナ禍後とで変化が生じた人との距離感や、学校での生活、地域との繋がり方など、大人が戸惑う以上に、子どもたちは、その変化を敏感に感じている様子がありました。時には気持ちが揺れる子どもに寄り添い、想いや悩みを汲み取り、励ますことを繰り返す、そのような経験や支援を通して、子どもとともに職員も成長できた、そのような1年であったように思います。

今年度は、地域小規模児童養護施設の建設に向けて、ますます歩みを進める年になろうかと思えます。子どもを中心にした事業運営、地域の社会資源の一つとして機能できる岩倉学園でありたいと考えています。

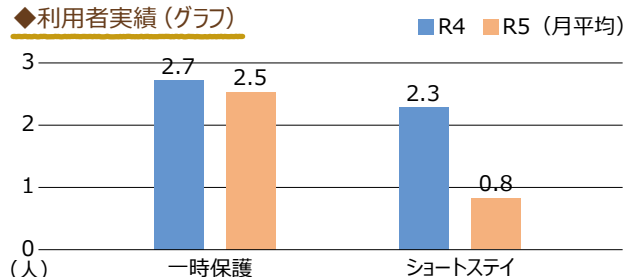
◆入所児童推移

令和4年度末	令和5年度		
22名	入所	退所	年度末児童数
	2名	6名	17名

◆利用者実績

	前年度月平均	今年度月平均
一時保護	2.7人	2.5人
ショートステイ	2.3人	0.8人

◆利用者実績(グラフ)



富士楽寿園

*施設長：黒崎 昭彦

移転改築2年目となる富士楽寿園は、従来型多床室からユニット型個室へ移行するという大きな転換からの安定に向けて試行錯誤しました。ご利用者様にとっても職員にとっても新しい環境に応じた体制整備を継続して積み上げてきました。その結果令和5年度は、運営や経営の道筋が概ね定まってきた年度となりました。

事業計画の一つ目として、「事業の安定的経営」をあげました。介護部としての一体的な経営を協議したことで稼働率を確保し、収支差額の確保につなげました。

二つ目の「サービスの質の向上」については、提供しているサービス内容に不具合はないか、サービスを向上するには何が必要か、各種会議や検討会を重ね、成果の確認として研究発表会を開催しました。研究発表会では職員全員で成果を共有し、意見交換を通してさらなるサービスの向上につなげました。各種研修や資格取得も推し進め、サービスの質の向上につなげました。

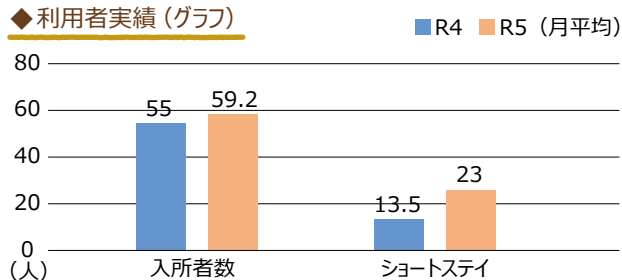
三つ目の「地域共生」においては、関係機関や関係団体との協働による各種社会参加の機会を作りました。静岡県との協働である「ナゾときカイゴ」は、小学生に介護の仕事を紹介するイベントとして開催されました。吉原高校とジヤトコ株式会社様の地域貢献活動として、コラボレーションによる演奏会も行われました。ご利用者様も一時の音楽鑑賞を楽しまれました。

ご利用者様のより良い暮らし、より良いサービス提供に向けた取り組みを引き続き積み上げていきたいと思っております。

◆利用者実績

	前年度月平均	今年度月平均
入所者数	55.0 人	59.2 人
ショートステイ	13.5 人	23.0 人

◆利用者実績 (グラフ)



事業報告：かたくら明和園

かたくら明和園

＊施設長：黒崎 昭彦

かたくら明和園は、優良介護事業所として静岡県より表彰されました。今まで積み上げてきたより良いサービス提供に向けた取り組みが評価されたことにより、職員一同大きな励みになりました。これからもさらなるサービス向上に向けて取り組んでまいります。

事業計画は、「事業の安定的経営」「サービスの質の向上」「地域共生」を大きな柱としています。特に「地域共生」では、NPO法人 青少年就労支援ネットワーク静岡との協働による清掃活動、NPO法人 ゆめ・まちなっととの協働による貧困世帯への支援、生活介護事業所らいととの協働による就労支援、富士市との協働による協定福祉施設避難所のさらに前段に位置づけされる、いっとき避難所の取り組み等、様々な取り組みを行いました。引き続き社会参加、社会貢献の形をつくっていきます。

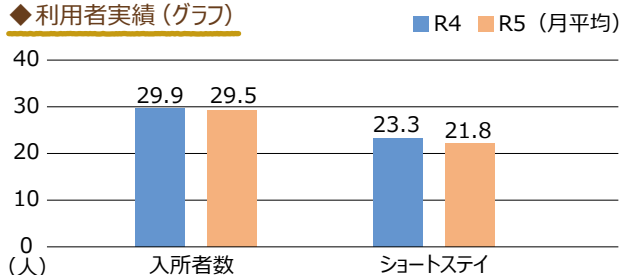
設備整備として、1. 屋根・外壁・貯水槽等の塗装・防水工事 2. 厨房ガス給湯器の入替 3. ネットワーク記憶装置 (NAS) の入替を行いました。設備の経年劣化も年々進んできましたが、しっかりと設備整備計画を整え、ご利用者様に安心安全に施設をご利用いただけるよう努めてまいります。

ご利用者様、ご家族様も交えてのカンファレンス、サービス向上に向けた各種会議、サービス内容や成果の確認でもある研究発表会など、様々な取り組みを今後も継続しながら、ご利用者様のより良い暮らし、より良いサービス提供を追求していきます。

◆利用者実績

	前年度月平均	今年度月平均
入所者数	29.9 人	29.5 人
ショートステイ	23.3 人	21.8 人

◆利用者実績(グラフ)



事業報告：デイサービスセンターふじみ台・富士市吉原中部地域包括支援センター

■ デイサービスセンターふじみ台

*施設長：松本 知子

デイサービスセンターふじみ台は「自立支援」の実現に向け、すべての支援・活動は機能訓練として、プログラム内容の充実や職員業務の見える化を行いました。

また、静岡県立富士特別支援学校富士東分校と介護の現場で仕事を体験する「地域作業学習」の受け入れを始めました。

居宅介護支援事業所では、ご利用者の意向を尊重したケアプラン作成のため、必須研修をはじめ外部研修にも積極的に参加することで、援助技術の向上を図りました。さらに、多様化しているニーズ等について職員間で事例報告を行い、問題の明確化や対応方法などの検討を行いました。

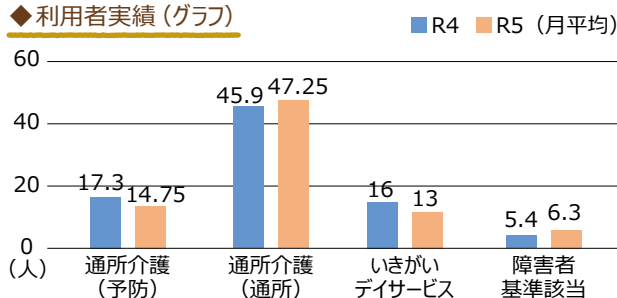


ふじみ台拠点間の連携強化を図り、「だれもが住み慣れた地域で暮らし続けたい」との思いを支えるため、在宅サービスの受け入れ体制を強化していきます。

◆利用者実績

	前年度月平均	今年度月平均
通所介護(予防)	17.3 人	14.75 人
通所介護(通所)	45.9 人	47.25 人
いきがいデイサービス	16 人	13 人
障害者基準該当	5.4 人	6.3 人

◆利用者実績 (グラフ)



■ 富士市吉原中部地域包括支援センター

*施設長：松本 知子

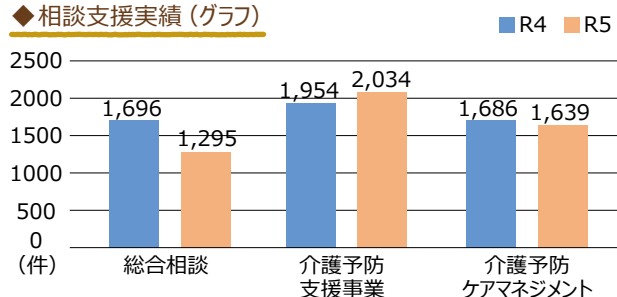
富士市から業務委託を受けて12年目を迎え、「地域包括ケアシステムの構築」「地域共生の実現」に向け取り組みました。その一つとして、民生児童委員やケアマネジャーと認知症対応や多職種連携手法をテーマに地域課題解決会議を行いました。生活支援体制整備事業では、ボランティア組織富士見台くらし支え合いセンターの運営サポートや神戸地区のボランティア組織の立ち上げサポートなども行っています。一方、総合相談の内容は数年前と比較すると複雑化していると実感しています。これからも地域の皆様に信頼されるセンターをめざします。



◆相談支援実績

	前年度件数	今年度件数
総合相談	1,696 件	1,295 件
介護予防支援事業	1,954 件	2,034 件
介護予防ケアマネジメント	1,686 件	1,639 件

◆相談支援実績 (グラフ)



事業報告：多機能ホーム結

■ 多機能ホーム結

*施設長：松本 知子

結は、要介護状態になっても「住み慣れた地域での暮らしが継続できるよう、ご利用者様及びご家族等のニーズに合わせ通い・泊り・訪問のサービスを組み合わせ、顔なじみの職員による安心感のある良質なサービスの提供をめざしています。

また、平成27年開設時から「一緒にでかけよう、心ゆくまで」を指針として掲げ、地域との交流を積極的に行ってきました。コロナ禍で一時中断していたこれらの地域交流は、令和5年5月新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類感染症への移行に伴い、荻の原天王祭や地域防災訓練等の地域交流の機会が再開された一年となりました。

まちの駅「結カフェ」は、毎月第2火曜日に地域の方のご協力と青葉台エリア事業所（小規模保育所つぐみ・家庭支援センターパラソル・ちゃ畑）が協働し、気軽に立ち寄っていただける「居場所」としてリニューアルすることができました。

職員の資質の向上においては、職員一人ひとりの介護力向上を図るため、認知症の理解と基本的対応の勉強会や介護リスクの意識を育てる危険予知訓練及び事故予防対策等について、全職員で検討を重ねて改善を図りました。

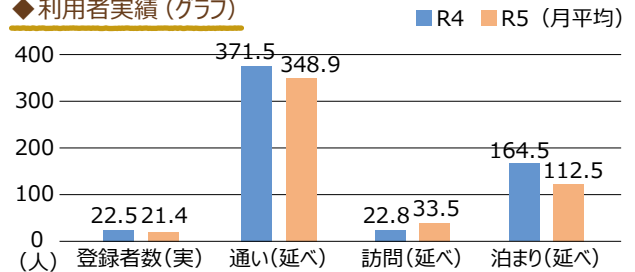
さらに、県内他事業所の見学や資格取得に向けた外部研修への参加を積極的に行うことで、サービスの質の向上に向けて取り組みました。

今後とも、地域密着型の事業所として社会参加やSNSを活用したサービスの見える化による情報発信に努め、結が地域における社会資源としての機能と役割を果たしていきたいと考えています。

◆利用者実績

	前年度月平均	今年度月平均
登録者数(実)	22.5人	21.4人
通い(延べ)	317.5人	348.9人
訪問(延べ)	22.8人	33.5人
泊まり(延べ)	164.5人	112.5人

◆利用者実績(グラフ)



富士和光学園

*施設長：田代 篤

富士和光学園では、「それぞれの個性・人格を尊重し、ご利用者様の自己実現を目指した支援を行います」という施設運営方針のもと、常にご利用者様の視点に立ち、質の高い生活の場の構築を進めてまいりました。特に、ご利用者様の環境要因の整備では、一番の環境要因である職員の資質向上を図りました。1年目～数十年のキャリアの違いがある中で、各職員が同じ支援を提供できるように、「課題に対してのアセスメント」と「プラン提供の手順書作成」を作成・実践致しました。

また、施設研究では、「知的障害者の退行」について研究し、ICFの視点からチェックシートを作成しました。今後は、全てのご利用者様に対して、サービス等利用計画や個別支援計画との連携からサービス内容の見直しや質の向上、生活全般から見えてくる課題に対しての予防を図ります。

個別活動や余暇支援では、感染症対策を徹底した上で個々の希望に沿った目的地や活動内容から外出や外泊を実施することが出来ました。できる限りの小集団を構成し、外食内容や活動、時間の使い方など個別対応を念頭に余暇等を過ごしました。

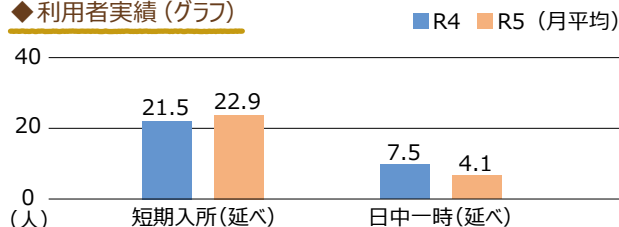
また、地域との交流では、アート DE 富士の参加、(株) エスパルスによるサッカー教室の参加、県立富士宮東高等学校とのハンドベル交流などさまざまな方と活動を共にして、人との繋がりから地域の一員であることを実感致しました。

今後も、一人ひとりの気持ち（意思）に寄り添い、個別化されたコミュニケーション方法（決定）から日常の希望や要望～将来の姿までをご利用者様と職員が一緒に考えられる施設を目指して参りたいと思います。

◆利用者実績

	前年度月平均	今年度月平均
短期入所(延べ)	21.5 人	22.9 人
日中一時(延べ)	7.5 人	4.1 人

◆利用者実績(グラフ)



■ 富士本学園

*施設長：半澤 哲永

富士本学園では、「心理的安全性」を施設目標に、職員で協力しながらご利用者様への支援の提供をしてまいりました。また、ここ数年間、コロナウィルス感染症の流行に伴い、制限されていた生活様式も変わり、対外的な施設行事を開催しながらご利用者様の笑顔を見ることができました。

地域公益的な活動として、千田先生はじめ学生ボランティアのご協力のもと、「第12回アートDE富士」を富士市交流プラザで開催し54名の方が参加しました。また、職員が創意工夫を凝らして「秋祭り」を実施したり、個別外出として東京方面に1泊2日で外出をしたりと、ご利用者様も多くのことを体験することができました。

また、昨年度は職員が意欲的に働くことができる取り組みとして、夜勤時間の検討や様々な労働シフトにチャレンジしながら、ご利用者様により良いサービスの提供方法を研究しました。このチャレンジは職員の考え方を大きく変える一歩であり、これからの業務改善の取り組みにおいても大いに役に立つものだと感じております。更に、記録ソフトを導入したことにより業務の簡素化を図り、ご利用者様とのコミュニケーションをさらに確保できることを期待しています。

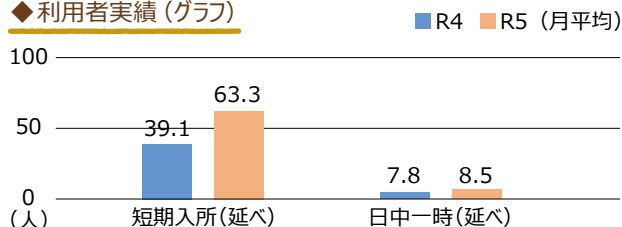
職員の資質向上につきましては、法人内部研修や外部研修に参加し、強度行動障害者支援者養成研修や、虐待防止研修等を修了しました。その他では介護福祉士試験に2名の職員が合格する等、専門的な技術の習得に努めました。

今後も、職員一人ひとりが変化を恐れずに前向きにチャレンジすることで、ご利用者様の暮らしがより豊かになるよう努めてまいります。

◆利用者実績

	前年度月平均	今年度月平均
短期入所(延べ)	39.1人	63.3人
日中一時(延べ)	7.8人	8.5人

◆利用者実績(グラフ)



事業報告：そびな寮、あおぞら寮、中野・高山ホーム、チャレンジ

■ そびな寮、あおぞら寮、中野・高山ホーム、チャレンジ

*施設長：半澤 哲永

新型コロナウイルス感染症が5類に変更となり、以前の生活に戻りつつも感染への配慮は継続してきた令和5年度でした。自力で会社通勤や事業所への通所をされるご利用者様が多いグループホームという特性を活かすべく、ご利用者様の協力をいただきながら感染拡大の防止に努め、「普段通りの生活」の場の提供を行ってまいりました。

また、自立に向けた支援の柱の一つである余暇支援の充実を図り、個別外出を本格的に再開いたしました。ご利用者様も旅行に出掛けることでリフレッシュが図られたようでした。購入したお土産をご自身の職場で振る舞われることも楽しみにしており、話に花が咲いていたと従業員の方からも好評でした。

昨年度は、地域貢献の一環として、そびな寮が発起施設となって近隣の福祉事業所にも声を掛けさせていただきながら「大淵ふくし秋まつり」のプレ開催に至ることができました。事業所以外にもキッチンカーやバザー等が出店した賑やかな会場に、地域にお住いの皆様や、各事業所をご利用されている皆様にご来場いただき、盛況のうちに終わることができました。地区の秋の風物詩となれるよう、次回開催に向けて力を込めてまいります。

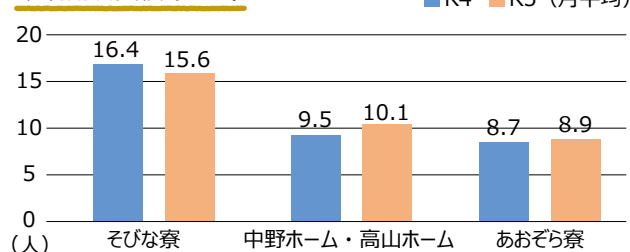
チャレンジは就業・生活支援センターとして18年目となり、三障害や難病含めすべての障害の方々が対象であり、医療機関とも連携し、仕事と生活の安定を目指して支援の強化に努めています。

今後も地域で「基幹型」の機能を担い、就労における地域関係機関の支援ネットワークの強化、企業間のネットワーク構築、充実を図り「障害者雇用の理解・拡大」に向け事業を進めてまいります。

◆利用者実績

	前年度月平均	今年度月平均
そびな寮	16.4人	15.6人
中野ホーム・高山ホーム	9.5人	10.1人
あおぞら寮	8.7人	8.9人

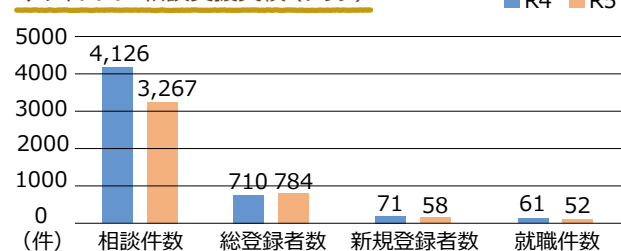
◆利用者実績(グラフ)



◆チャレンジ 相談支援実績

	前年度件数	今年度件数
相談件数	4,126件	3,267件
総登録者数	710人	784人
新規登録者数	71人	58人
就職件数	61件	52件

◆チャレンジ 相談支援実績(グラフ)



事業報告：サポートセンターくろーばー

■ らいと・みらい・せふりー

*施設長：半澤 哲永

「サポートセンターくろーばー」を構成する「らいと」「みらい」「せふりー」の各事業所は、引き続き感染症対策に留意しつつ活動の場を徐々に広げ、ご利用者様の成長や生活、地域課題などに向き合いながら、その人らしい地域生活の実現を目標として、拠点運営を行いました。また、「くろーばー」拠点として、3事業所および「居場所くろーばー」も含め、地域の福祉拠点として地域のみなさまに周知できるよう、隣接するかたから明和園と共に地域活動や施設の相互活用などを行うことが出来ました。

「通所生活事業所らいと」においては「私にもこんなことが出来るんだ」をコンセプトに生産活動や社会体験支援、清掃など地域との交流を積極的に行いました。また、サービス向上の取組として、強度行動障害支援者等、職員の積極的な研修参加を促しながら自己研鑽と支援力の向上を図りました。

「放課後等デイサービスみらい」では、日々成長する子供たちを家族と共に考え、子供たちが楽しく過ごすことが出来るように季節感のある活動の設定や、個々のニーズに合った個別・集団の療育活動を行いました。コロナで休止していた保護者会も再開し、家庭と学校、そして「みらい」での生活の連続性が支援に反映できるよう、風通しの良い事業所運営を心掛けました。

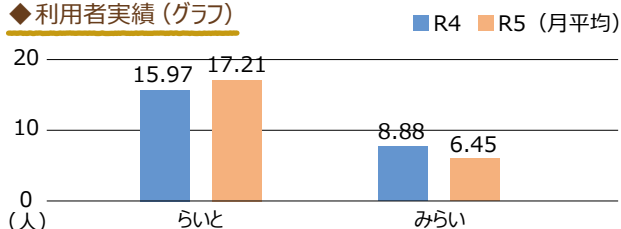
しかし、運営面では前年度の高等部3年生の卒業後に新規利用児童の獲得が出来なかったため、大きく稼働率を下げってしまう結果となってしまいました。

「相談支援事業所 せふりー」では、在宅生活をしている障害児者やその家族の生活に寄り添った相談支援体制を取りながら専門的な助言やケアマネジメントを行いました。従来の訪問・来所支援に加え、メールやSNS等も活用し、相談者のニーズや課題に職員が協働しながらチームで業務を行いました。また自立支援協議会等に参画し、地域課題の解消につとめました。

◆利用者実績

	前年度 1日平均	今年度 1日平均
らいと	15.97 人	17.21 人
みらい	8.88 人	6.45 人

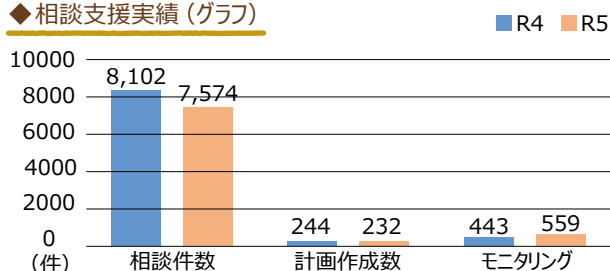
◆利用者実績(グラフ)



◆相談支援実績

	前年度件数	今年度件数
相談件数	8,102 件	7,574 件
計画作成数	244 件	232 件
モニタリング	443 件	559 件

◆相談支援実績(グラフ)



2023年度決算報告①

法人単位事業活動計算書

(自) 令和5年4月1日 (至) 令和6年3月31日

(単位: 円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	
活動増減部	収益	介護保険事業収益	635,013,929	606,243,811	28,770,118
		児童福祉事業収益	493,357,525	477,807,002	15,550,523
		保育事業収益	36,262,010	34,721,910	1,540,100
		障害福祉サービス等事業収益	698,831,969	697,293,241	1,538,728
		経常経費寄附金収益	2,438,153	3,018,000	△ 579,847
	サービス活動収益計 (1)		1,865,903,586	1,819,083,964	46,819,622
	費用	人件費	1,210,957,778	1,193,601,860	17,355,918
		事業費	267,542,991	290,326,552	△ 22,783,561
		事務費	223,443,282	214,114,672	9,328,610
		利用者負担軽減額	2,281,316	1,909,121	372,195
減価償却費		117,102,204	110,936,066	6,166,138	
国庫補助金等特別積立金取崩額		△ 54,556,317	△ 63,879,401	9,323,084	
サービス活動費用計 (2)		1,766,771,254	1,747,008,870	19,762,384	
サービス活動増減差額 (3)=(1)-(2)		99,132,332	72,075,094	27,057,238	
増減部 活動外	サービス活動外収益計 (4)	13,389,007	9,955,859	3,433,148	
	サービス活動外費用計 (5)	6,818,530	7,052,307	△ 233,777	
	サービス活動外増減差額 (6)=(4)-(5)	6,570,477	2,903,552	3,666,925	
経常増減差額 (7)=(3)+(6)		105,702,809	74,978,646	30,724,163	
特別増減部	特別収益計 (8)	1,215,063	1,255,071	△ 40,008	
	特別費用計 (9)	5,603,467	5,797,236	△ 193,769	
	特別増減差額 (10)=(8)-(9)	8,350,352	△ 43,032,179	51,382,531	
当期活動増減差額 (11)=(7)+(10)		114,053,161	31,946,467	82,106,694	
繰越活動増減差額部	前期繰越活動増減差額 (12)	980,432,516	938,950,850	41,481,666	
	当期末繰越活動増減差額 (13)=(11)+(12)	1,094,485,677	970,897,317	123,588,360	
	基本金取崩額 (14)				
	その他の積立金取崩額 (15)	16,932,735	128,451,600	△ 111,518,865	
	その他の積立金積立額 (16)	93,513,124	118,916,401	△ 25,403,277	
次期繰越活動増減差額 (17)=(13)+(14)+(15)-(16)		1,017,905,288	980,432,516	37,472,772	

法人単位資金収支計算書

(自) 令和5年4月1日 (至) 令和6年3月31日

(単位: 円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)		
事業活動	収入	介護保険事業収入	633,133,000	635,013,929	△ 1,880,929	
		児童福祉事業収入	473,158,000	493,357,525	△ 20,199,525	
		保育事業収入	35,786,000	36,262,010	△ 476,010	
		障害福祉サービス等事業収入	703,304,000	698,831,969	4,472,031	
		借入金利息補助金収入	16,000	31,920	△ 15,920	
		経常経費寄附金収入	2,109,000	2,438,153	△ 329,153	
		受取利息配当金収入	78,000	31,881	46,119	
		その他の収入	13,200,000	13,325,206	△ 125,206	
		事業活動収入計 (1)		1,860,784,000	1,879,292,593	△ 18,508,593
		収支	支出	人件費支出	1,221,314,400	1,210,893,321
事業費支出	276,869,000			265,185,753	11,683,247	
事務費支出	233,687,000			223,343,436	10,343,564	
利用者負担軽減額	3,574,000			2,281,316	1,292,684	
支払利息支出	1,292,000			1,215,063	76,937	
その他の支出	5,687,000			5,305,867	381,133	
事業活動支出計 (2)				1,742,423,400	1,708,224,756	34,198,644
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)		118,360,600	171,067,837	△ 52,707,237		
施設整備等収支	施設整備等収入計 (4)	0	1,814,300	△ 1,814,300		
	施設整備等支出計 (5)	36,721,000	38,792,455	△ 2,071,455		
	施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)	△ 36,721,000	△ 36,978,155	257,155		
活動他収支	その他の活動収入計 (7)	18,664,000	18,403,643	260,357		
	その他の活動支出計 (8)	76,809,000	96,797,524	△ 19,988,524		
	その他の活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	△ 58,145,000	△ 78,393,881	20,248,881		
予備費支出 (10)		1,500,000	—	1,174,000		
		△ 326,000				
当期資金収支差額合計 (1)=(3)+(6)+(9)-(10)		22,320,600	55,695,801	△ 33,375,201		
前期末支払資金残高 (12)		613,882,040	613,882,040	0		
当期末支払資金残高 (11)+(12)		636,202,640	669,577,841	△ 33,375,201		

(注) 予備費支出△326,000円は固定資産除却・廃棄支出に充当使用した額である。

2023年度決算報告② 年間スケジュール

法人単位貸借対照表

令和6年3月31日現在

(単位：円)

	資産の部			負債の部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	743,108,118	663,821,564	79,286,554	流動負債	159,588,291	146,672,857	12,915,434
現金預金	472,398,006	434,471,226	37,926,780	事業未払金	56,940,796	56,940,796	0
未収金	267,306,153	225,938,975	41,367,178	1年以内返済予定借入金	13,141,000	13,067,000	74,000
その他の流動資産	3,403,959	3,411,363	△7,404	賞与引当金	72,805,956	83,002,985	△10,197,029
固定資産	2,728,870,867	2,745,203,009	△16,332,142	その他の流動負債	16,700,539	6,146,985	10,553,554
基本財産	1,646,445,935	949,287,253	697,158,682	固定負債	217,652,305	228,924,471	△11,272,166
その他の固定資産	1,082,424,932	1,795,915,756	△713,490,824	設備資金借入金及びリース債務	187,881,536	200,669,594	△12,788,058
土地	0	173,888,001	△173,888,001	退職給付引当金	29,770,769	28,254,877	1,515,892
建物	7,595,115	609,992,723	△602,397,608	負債の部合計	377,240,596	375,597,328	1,643,268
構築物	57,747,153	59,340,415	△1,593,262	純資産の部			
機械及び装置	17,711,856	13,372,482	4,339,374	基本金	531,769,849	531,769,849	0
車輛運搬具	4,402,513	8,121,319	△3,718,806	国庫補助金等特別積立金	672,663,668	725,405,685	△52,742,017
器具及び備品	70,559,085	80,885,766	△10,326,681	その他の積立金	872,399,584	795,819,195	76,580,389
有形リース資産	111,058	777,406	△666,348	次期繰越活動増減差額	1,017,905,288	980,432,516	37,472,772
その他の積立資産	902,170,353	824,074,072	78,096,281	純資産の部合計	3,094,738,389	3,033,427,245	61,311,144
その他の固定資産	22,127,799	25,463,572	△3,335,773	(うち当期活動増減差額)	114,053,161	31,946,467	82,106,694
資産の部合計	3,471,978,985	3,409,024,573	62,954,412	負債及び純資産の部合計	3,471,978,985	3,409,024,573	62,954,412

年間スケジュール

	【児童】	【障害】	【介護】
4月	1日 法人さくらまつり 8日 花まつり	1日 法人さくらまつり 8日 花まつり	1日 法人さくらまつり 8日 花まつり
5月	4日 岩：クリーンウォーク 20日 法人植花祭	1日 楽：お弁当の日 1日 か：15周年記念行事 20日 法人植花祭	20日 法人植花祭
6月		1日 楽：創立記念日 24日 楽：家族懇談会	6日 和：富士宮東高校交流会
7月	29日 岩：富士本祭り出店	11日 認知症サポーター養成講座 22日 か：片倉地藏尊祭	7日 和：エスパルスサッカー教室
8月	5日 少：玉泉寺夏祭り 17日 県養協夏季スポーツ交流会	2日 ふ：児童クラブと交流	24日 富：納涼祭
9月	法人防災訓練 つ・パ・結：地域イベント「縁日」	法人防災訓練 9日 か：敬老会 つ・パ・結：地域イベント「縁日」 24日 介護部：カイちゃんカフェ	法人防災訓練 24日 富：アードDE富士
10月	パ：里親啓発月間イベント	15日 楽：秋のお彼岸 15日 か：秋祭り 22日 楽：なぞときカイゴ（静岡県主催）	16日 和：富士宮東高校交流会
11月	3日 興亜祭出店 5日 法人岩倉観音祭 18日 児童虐待防止イベント 25日 県養協オセロ大会	5日 法人岩倉観音祭 12日 ボーイスカウト奉仕活動 26日 JATOCO・吉原高校吹奏楽部 演奏会	5日 法人岩倉観音祭 26日 そ：大淵クリーン作戦 30日 和・富：強度行動障害事例検討会
12月	クリスマス会 県養協オセロ大会 26日 岩：防犯教室	19日 か：クリスマス会 26日 か：富士山女子駅伝コース清掃	13・20日 和：クリスマス会 く：富士山女子駅伝コース清掃
1月	7日 少：合同研修 14日 県養協冬季スポーツ交流会	3日 楽：書初め 6日 か：繭玉作り	9日 和：新年会
2月			
3月	16日 少：出張社長室イベント 20日 岩：卒園卒業を祝う会	2日 介護部：カイちゃんカフェ 12日 か：実践報告会 22日 楽：研究発表会	6日 和：エスパルスサッカー教室 8日 富：実践報告会 16日 障害部：実践報告会
	岩：岩倉学園 少：誠信少年少女の家 ふ：ふじみ台	パ：パラソル つ：つぐみ 楽：富士楽寿園 富：富士本学園	か：かたから明和園 和：富士和光学園 そ：そびな寮 く：くろーばー

ボランティア・寄付 (令和5年6月1日～令和6年5月31日)

ボランティア

※順不同・敬称略

【ボランティア名】	【ボランティア名】	【ボランティア名】	【ボランティア名】
田中 美保子	サポート青葉台	梶田 真由美	鈴木 俊輔
近藤 正春	水崎 有海	二本柳 千恵美	牧野 敬秀
内海 紀代美	misora	ジヤトコ株式会社	勝又 里香
吉川 秀子	ゴスペコ富士	トランポリン団体 跳組	渡邊 武志
辻 加奈子	富士ハーモネッタ	NPO法人青少年就労支援ネットワーク静岡	
長谷川 さゆり	大谷 美恵子	富士市立吉原北中学校プラスバンド	
高橋 明美	駄菓子屋りぼん	富士市立大淵中学校	
田口 裕美	藤田 和一	静岡県立富士特別支援学校富士東分校	
		静岡県立富士東高等学校 プラスバンド部	

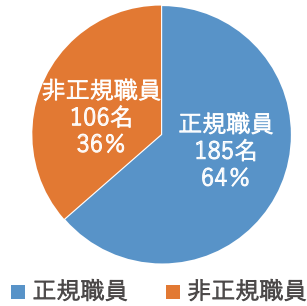
寄付

※順不同・敬称略

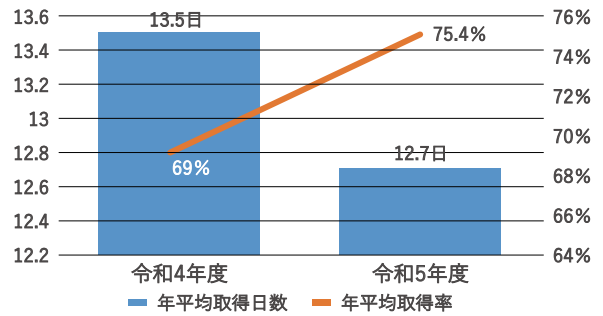
【寄付者名】	【寄付者名】	【寄付者名】
マルハン鷹岡店	丹羽 蓮	門司 一徹
(株)エルフィーグリーン	(株)フルベール館	(公社)日本缶詰びん詰レトルト食品協会
伝心寺	岩本 光弘	(株)カーブスジャパン
(株)日立製作所内 一般社団法人親切会中部支部	藤沢 昇	ジヤトコ(株)
高野 悟士	館乃雲	アーツカウンシルしずおか 落合 徹
マルハン吉原店	小麥屋 松林堂	小麦の奴隷 沼津店
パン工房 ハイホー	若林 久恵	駿河男児ボクシングジム
齊藤 久江	(株)プレッシングス	宮崎洋、那奈美
林正寺	(株)フェリシモ	遠藤 智、政子
圓妙寺	望月 夕子	(株)丸鈴 代表取締役 鈴木 孝
(株)ファーストリテイリング サステナビリティ部	山田 千津子	田上 香苗
富士製パン(株)	いなば食品(株)	日本生命保険相互会社 コーポレートプロモーション部
(株)秋山オート商会	全国シャンメリー協同組合	杉山 順次
後藤 和成	(株)松野精肉店	佐野 紘子
(株)ゆうちょ銀行	藤井 千秋	山崎 葉里
静岡パートナーセンター 西村 仁	ほっともっと	富士宮第四中学校 福ろう製作所
大淵郵便局 岩間 英樹	(公財)毎日新聞東京社会事業団	(一社)東日本大震災雇用、教育、 健康支援機構
富士富士岡郵便局 長川 久誠	(株)ADEKA 労働組合	(株)VELTEXスポーツエンタープライズ
(一社)全国食支援活動協力会	山崎 葉里	ジヤトコ(株) 監督者の会
(株)live	昭和自動車学校 代表 齊藤 貴宣	清水師人、和代
日本理美容教育センター	(有)仁藤石材工業	(公財)那須記念財団
佐野 彰彦	富士ライオンズクラブ	(株)Live 代表取締役社長 和田 将宏
勝間田 博	酒井 忠明	マルハン荒田島店
(株)YES(餃子の雪松)	山田 賢一、宮下 和美	(株)グランドリサーチ 井奥 猛
司法書士 野添 賢一	(株)BACKSTAGE 田村 有樹子	勝亦 照子
長島 巧	富士宮第二中学校 福ろう製作所	(株)北里コーポレーション 代表取締役 井上 太綏
美栄堂	日本鏡餅組合 理事長 樋口 元剛	佐伯 誠
吉田 武宣	大三産業(株) 志村 真希	アサヒ飲料(株)
小倉 歩	グランマ Chie	富士山工場総務部プロデューサー 村山 幸助
保科 悦久	(株)山清倉庫 代表取締役社長 山田 泰正	
菅沼 旭太郎	佐野 彰彦	
社)日本プロ野球選手会	トヨタユナイテッド静岡(株)	
	興亜工業(株) 代表取締役社長 井上 淳	

職員情報

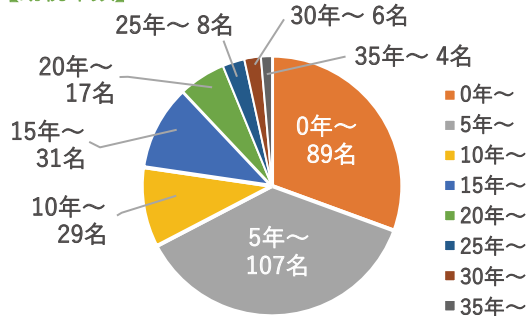
【雇用形態】



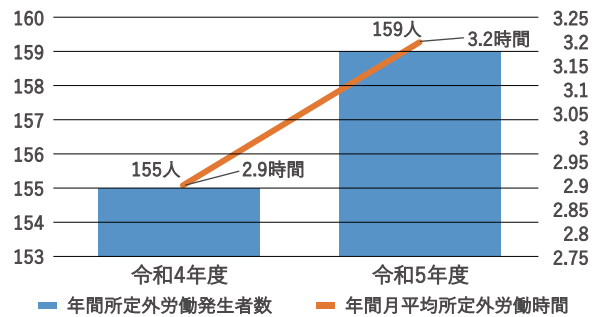
【有給休暇取得実績】



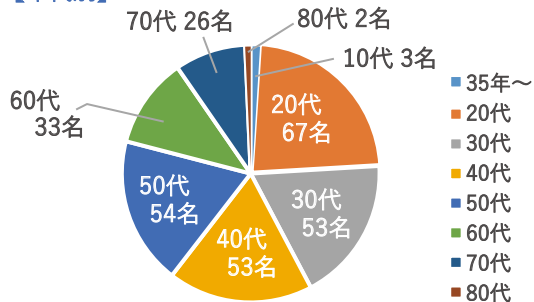
【勤続年数】



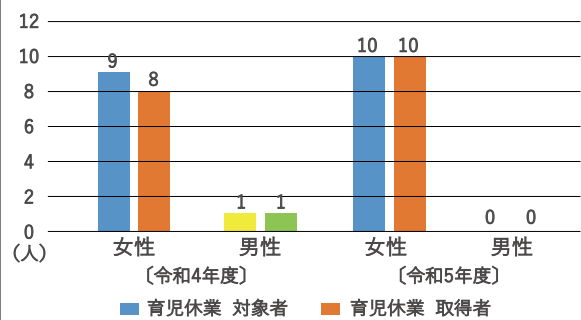
【所定外労働時間等実績】



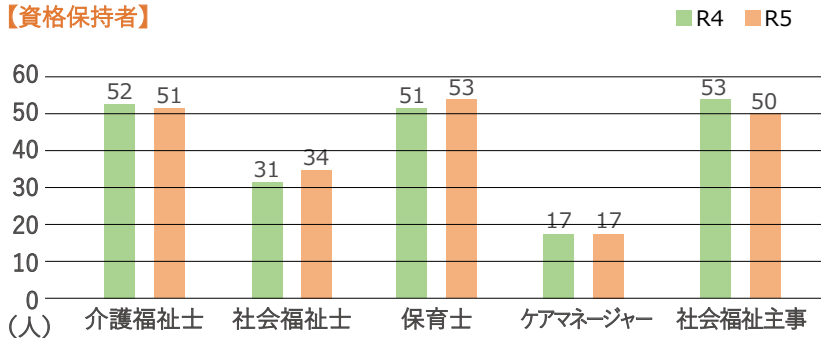
【年代別】



【育児休業取得実績】



【資格保持者】





社会福祉法人 誠信会

法人本部 富士市比奈1354 TEL.0545-38-1941

